



3 x 3 バスケットボール



こんにちは！国際交流員のスティーブン・キャネルです。今日は、バスケットボールを紹介した記事でも少し話しましたが、オリンピックに新しく追加されたバスケットボールの種目である3 x 3を紹介したいと思います。

F I B A（国際バスケットボール連盟）によると、3 x 3は世界最大都市型団体スポーツであるそうです。友達とプレーする人が多いですが、最近公式なスポーツとして扱われるようになってきて、東京 2020 オリンピックでオリンピック種目としてのデビューをします。3 x 3は5人制バスケットほど大きいスペースを必要とせず、3人でできるため、より多くの人が始めやすいスポーツです。オリンピック種目に追加され、参加者が増え、一般のバスケットボール観客にも人気が出ると考えられています。

3 x 3は5人制バスケットボールとルールが異なり、コートも違います。3 x 3はプロバスケットボールが使うコートの半分（横15m x 縦11m）でプレーします。つまり、ボールが相手側に渡ると反対側に進むのではなく、その同じハーフコートで続きます。チームは3人とサブ1人で構成されます。5人制バスケットとポイント配分が違い、アーク（5人制バスケットボールのスリーポイントアーク）の外からショット決めると2点、アークの内からのショットとフリースローは1点になります。ショットが決まったら、相手ボールになり、ショットしたりする前に、アークの後ろまで進まなければなりません。3 x 3ではパーソナルファウルは記録されません。つまり何度ファウルをしても大丈夫です。一方、テクニカルファウルは2度犯すと退場となります。ショット中のファウルはアーク内ですと1フリースローに、アーク外ですと2フリースローになります。ファウルが記録されないため、3 x 3は5人制バスケットボールよりアグレッシブでけがをすることも多いです。鼻の骨折や唇の出血等も珍しくありません。試合時間は10分です。各チームにタイムアウトが

¹ パーソナルファウルは、普通のプレーで相手選手に衝突したりすることです。一方テクニカルファウルというのはコーチや、ベンチの選手がスポーツマンシップ上の反則をすることです。例えば、相手や審判への暴言や違反行為等はテクニカルファウルになります。

1つ与えられます。3 x 3の特定のルールがない場合、ふつうの5人制ルールを使います。さきに21点を得点したチームの勝ちです。引き分けの場合、延長戦になり、先に2点を得点したチームの勝利です。

現在男子3 x 3は世界レベルではセルビアが最も強いです。世界ランキング1位で、4回もF I B A世界選手権大会で金メダルを獲得しています。女子ではアメリカが2回選手権大会を優勝しています。

カジュアルなスポーツとしてすごく人気がありながら、5人制を制覇するアメリカでは現在公式の3 x 3バスケットボールはまだヨーロッパやアジアほど参加者が多くはないですが、アメリカは今男子世界ランキングで5位です。最近では、オリンピックが近づくにつれ、普及させるための取り組みが行われるようになりました。その取り組みの一つはレッドブルの3 x 3シリーズです。アメリカのオリンピック代表の選手を選ぶために、レッドブルが大会のシリーズを主催し、優勝したチームの選手がオリンピック代表になるというイベントです。

実は日本は3 x 3の人気が高い国です。3 x 3. E X Eというリーグが日本各地で競技を調整しています。宇都宮のチームが強いです。日本代表は世界ではまだ活躍していませんが、個人の実力は高く、現在のF I B A 3 x 3個人ランキング男子U 1 8級は1位も2位も日本人で3位との差が大きいです。女子U 1 8級の2位も日本人です。その1位はN B Aを目指している豊橋の桜丘高校出身の富永啓生選手です。富永選手は昨年的高校得点王で、日本で一番強い高校生だと言われています。来年のオリンピック代表に選ばれるかはまだ分かっていませんが、日本の次世代の3 x 3バスケットボール代表は間違いなく強いでしょう。

バスケットボールの大ファンも、バスケットボールの試合を一回見たこともない人も、この新しく普及しているスポーツは見ることもプレイすることも楽しめると思います。